

会員数	36,985	(前月比) +134
郵送	8,832	(前月比) - 2
手配り	25,925	(前月比) +136
協同基金到達額	2,560,261,000円(3/31現在) [前月比 63,063,000増]	
協同基金出資者数	12,787名(3/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	27,059円(3/1~31)	



参加者の前であいさつする藤田支部長

# 文字通りの「たまり場」になるように

浜寺支部

3月27日、健康友の会みみはらの11番目のたまり場として、ともしの家「風車」の開所式が行われました。

たまり場「風車」の開所を3月27日に控え、3月14日から大工さんが改装に入りました。急ごう配の階段の付け替えと床の間部分の改造で、少しでも広い空間を取ろうと進めますが、解体をしてみるといろいろの問題が出てきます。結局前日の26日に内装、手づくりの看板、掲示版、下駄箱、収納棚などがやっと準備万端。世話人さんを中心に改装中も荷物運びをしながらのオープン準備です。

当日天候は雨予想でしたが、天もたまり場に味方し

## たまり場「風車」オープン

た様子。オープン時間前から病院関係のみなさん、他の支部の代表者、浜寺支部の会員の方々など、総勢50



手作りの看板が目印

人余の参加で開所式が行われました。会場には入りきれずに表で立ってご覧になった方も。お茶とお菓子で時間のたつのも忘れておしゃべりされていました。

当面は、火・水・土曜日の午後オープンしながら、催しの内容を決めていくつもりです。

いろいろな差し入れをしてくださった病院関係者や他支部のみなさん、準備に携わっていただいた支部のみなさん方に深く御礼申し上げます。文字通りの「たまり場」になるよう頑張っています。

(支部長 藤田敦夫)



ふくいずみ支部でティッシュカバー作り

### 友の会体験

## 地域に必要とされる職員をめざして



東西支部のたまり場で口コミ体験

4月1日、同仁会グループの就職式が87人の新入職員を迎え、旭ヶ丘会館で行われ、4月5日には新入職員のオリエンテーションの

一環として、友の会体験が行われました。10班に分かれて10の支部を訪問し、抹茶体験や押し花づくり、地域訪問など地域の友の会の皆さんと交流を深めました。最初は不安で緊張していた職員も、友の会の方からの熱烈な歓迎を受け、とても和やかな雰囲気での体験をすることができました。

体験後の職員からは「友の会の人としっかり話せて、必要とされていることが分かったので感動した」「実際に地域の声を聞ける機会はなかなかないので、貴重な体験となりました」と感想がありました。

### 聴診器

病院の待合室「今日はAさんまだ来ないナー」「ああ、風邪引いたんで休むさかい皆に

よろしく言ってくたで」と。その昔の漫才の一幕までこれはブラックユーモア。一人暮らしは、誰かと話をしたいという気持ちはごく自然なものです。昨今「友の会」各支部では、コーヒーを飲みながらのゆったりとした話や、趣味のグループと過ごす「たまり場」が各所に増えつつあります。この5月15日(日)は耳原総合病院のフルオープン。「地域交流ゾーン」にはレストランも予定されており、どんなメニューが用意されているのか楽しみです。◆健康友の会みみはらは会員3万6千を超え、病院調査の「患者さん満足度」も上がっています。が、同じ民医連加盟で一歩先を行くのは千葉健生病院の「健康友の会ふれあい」です。「地域に一人ぼっちの高齢者をなくそう」と、お食事会・血圧測定など「安心して住み続けられるまちづくり」活動を続け、これが評価されて、平成25年秋の褒章で「緑綬褒章」を受章しています。◆わたしたちの「友の会」も方向は同じです。フルオープンを機に「みんなの耳原、耳原のみんな」の思いを更に広めたいものです。